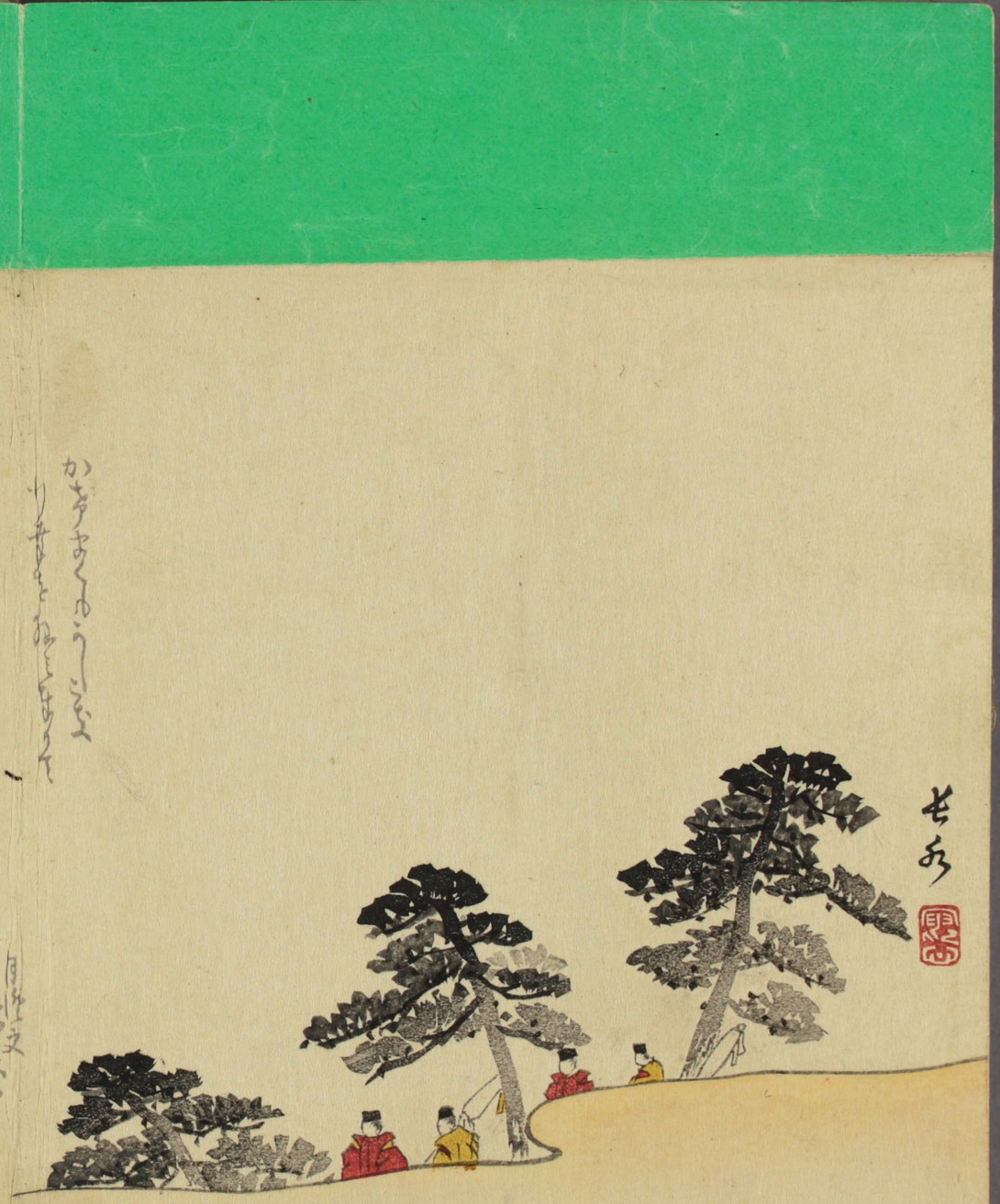
特別
へ5
6678
2

貴
15
6678
2



永進

甲子や一とせ[illegible]の古なるに　雅石
紙屋ふるはつてゝ[illegible]や神の[illegible]　永進

積[illegible]　[illegible]
[illegible]の雪　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
初市や[illegible]　[illegible]化
大初[illegible]陵[illegible]の不[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]　碧中

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

陸雪や[illegible]中[illegible]の上戸連　[illegible]

甲子　[illegible]

耕冲

春英写

多枝なる人や板のうちふる時雨
時すむ雲ふ一しなるうち
鶯なるうち雪すり鶯うめ
鶯なるうちかるるみをかるるみるるみふ蓬山
一樹あるもの鶯ハ一もの鶯用時
りふ山又又又山一もの時うちふ良し
もきうり鶯うりの日和の鶯きりう全九
野てあるもなるもの陽うふ一夢
四五本の雪の陽うみふう車月九
鶯鶯の雪ふ一ものあらふきふ鶯松風
ひきふもあるもの鶯すふ時雨

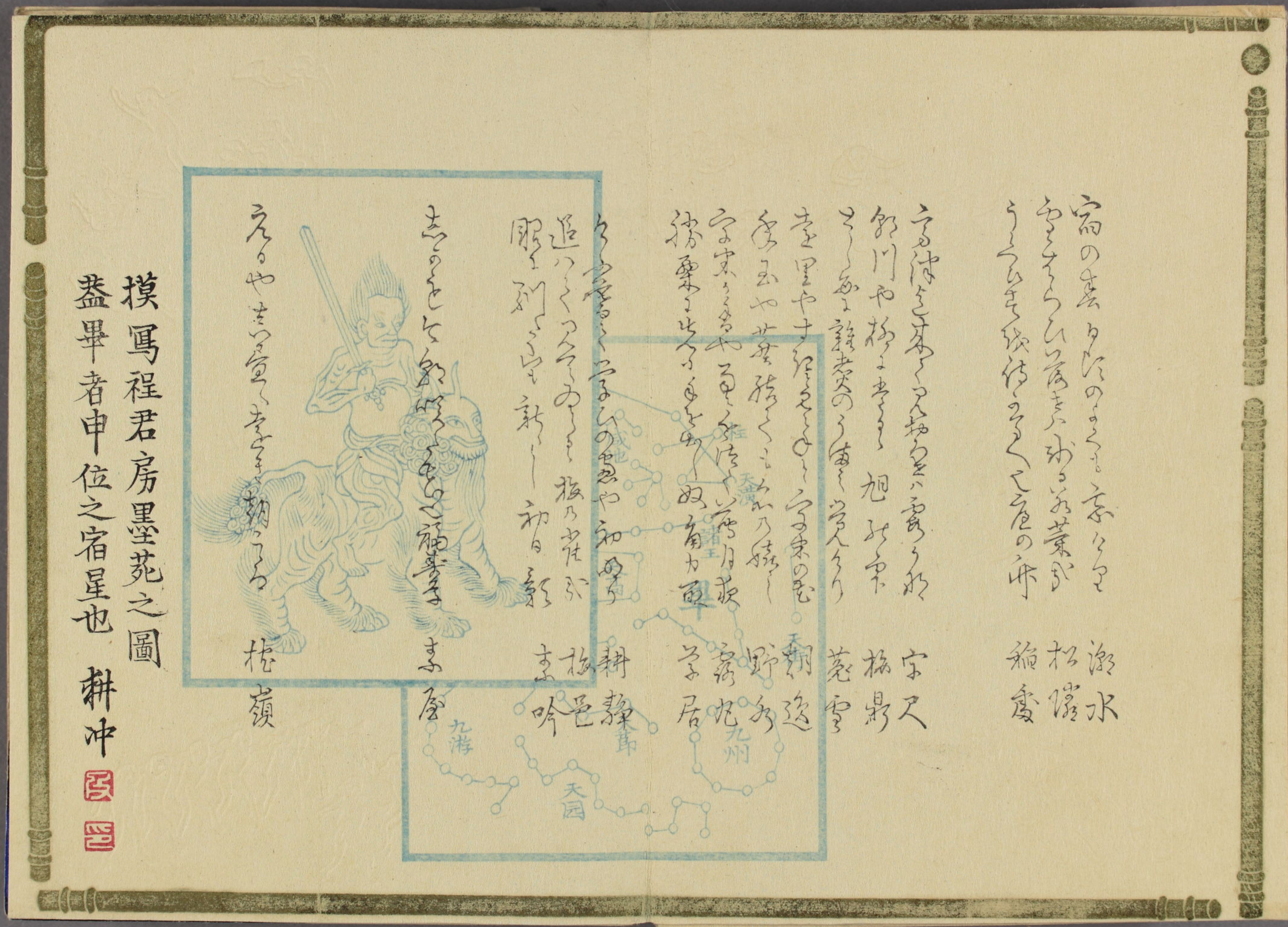
甲子

自の緑ちかき
まさ木葉も夏あるる山乃みねひろ郎　清雲
頭ゐ酒ろ木の中ろ陸ゑれ　金九
ろくるめや月ハ分山よりそくし　良く
先ゑく木ろ山ゑ猿ろ　清ゐ
高ゑろ
下苔やうくゑ乃ゑ乃ゑ乃ゑ乃ゑ乃ゑ山、
大仏のろ
詩ろ木てろゑせ　ものそむきれ　言ろ
繁ろろく蔦ゑ　ろや繁乃ゑ　金九
杉乃ゑ　繁ゐ代ろ　蔦ゑ　蔦繁
ゑれ日や鳥ろ　ゑまろて二月重　清ゐ

懐旧

ろろれゑ笠ゑ系ゑ系ゑ流れ　清雲
年近のろくゑ　ろやろの山　良く
木ゑ乃ゑ

今朝ろ雲ゑ木や乃ハ遠ゑろ　金九
ろくろ




摸寫程君房墨苑之圖

蓋畢者中位之宿星也　耕冲

住吉神洗番

楚山寫

発句

まち坂の松にしめ縄一筋き　宗久

涼しさもちらし立てし絵　古年

夕立に緑中現れて見ゆ　瀬水

むしろの緑も宇多来る　久

東雲の夕べ月のはさまで　年

さしてかゝる霧の穂雲　水

下略

かきつばたの涼しさ漂ひの
揺籠をいとゞもなほしと白き
をはなく　古年

み山より出し葉を揺りて見ゆ　宗久

夏の深みもちりや竹の露　瀬水

涼しさや庭に楽しき松の本

丁丑六月

# 東山女人形写意

墨外

[illegible]屋乃盃　拳一
日の本はいさあ　えゆれ弓なめ　萬利
四月やんのかは　氣　そ　外イセ　米仙
古着をふるうなるる二月寿　文昇
二月花あるあ初戸や蕗の薹　松宗
初雲の山もや得元　独るると　不遊
服あるる又あるるや　るるる　梅園
まるるるるるふ　のるめ　梅幼
世るる作るるるるるる初唐　光鶴
耶馬の桜はむ夏よ　夏　去智
万きんの他法　りるるる扇る　猩く
るるるるるるるるる小夏よ扇る　丈遊
和梅の咲るるるるる　井乃清　徒翠
時まて来るるるるるる雲る　井資

一雪のあるを知るうらあるを知ること　昌吉

田ごとやゆきもふるこ淀とあるる　眉山

常なるうらとやとその蘇　蕙芝

多孤もしきまこむ梅の白きうまと　立京　老雪

きこりのうちと淀子よ玉乃明りのう　序磯

常夕よりうくすくさ仕学ちま　寿め

海ふ若元よ知もなるそ代乃玉　爭水

さろ時や樹也を赤ふ家松の之　兎園

長水

一雪のあるものうらあるそ初雪いつと　鼎吉

四方のうるやひもらふもしらぬ　眉山

常なるうらやとその緑　蕉笠

る残もすきるむ梅の白むこうす　立京　老雪

きりのうちと降るよ玄乃明らのも　亭磯

常よ玄うらすすく仕法常ち　寿め

法ふ玄立と知ちそ成乃玄　亭水

ちう時や樹色をあふ家根の上　鬼園

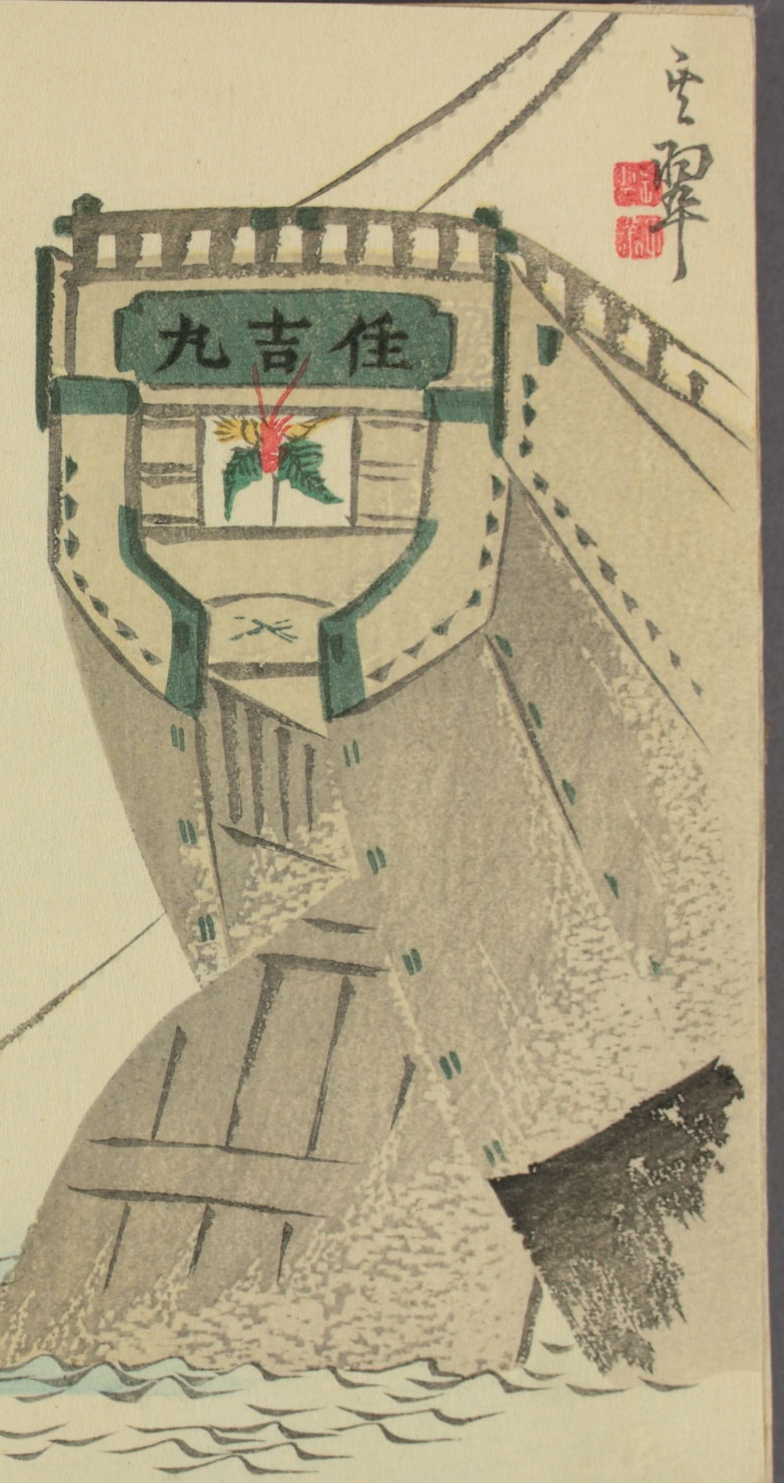
通ちと等へうらやひるの雪　百六

神為乃笑木ようる時竹家　梅村

ちうるよ文字時千やひるの　亭雪

芹実ふあとふ法うと玄の月　亭橋

梅うちもくちうやや為乃玄雪　亭村




元隆の春のもちやふるとろの初松葉　梅一

梅のやり葉とる枝の　梅影

まろおや時り新るる方の新　秀雪　梅海

まろ紅やきとる紅ゆみ四の矣　空　空一女

鶴の春ふむろる俳　初雪

鶴るみろく鶴や國栖の奏　青梅

ろ梅やキヤマ春の陰ろ鶴　貫雀

まり矣ろてむくろ　若り　赤奴

住ろ住るれてや梅の春　家　香秀

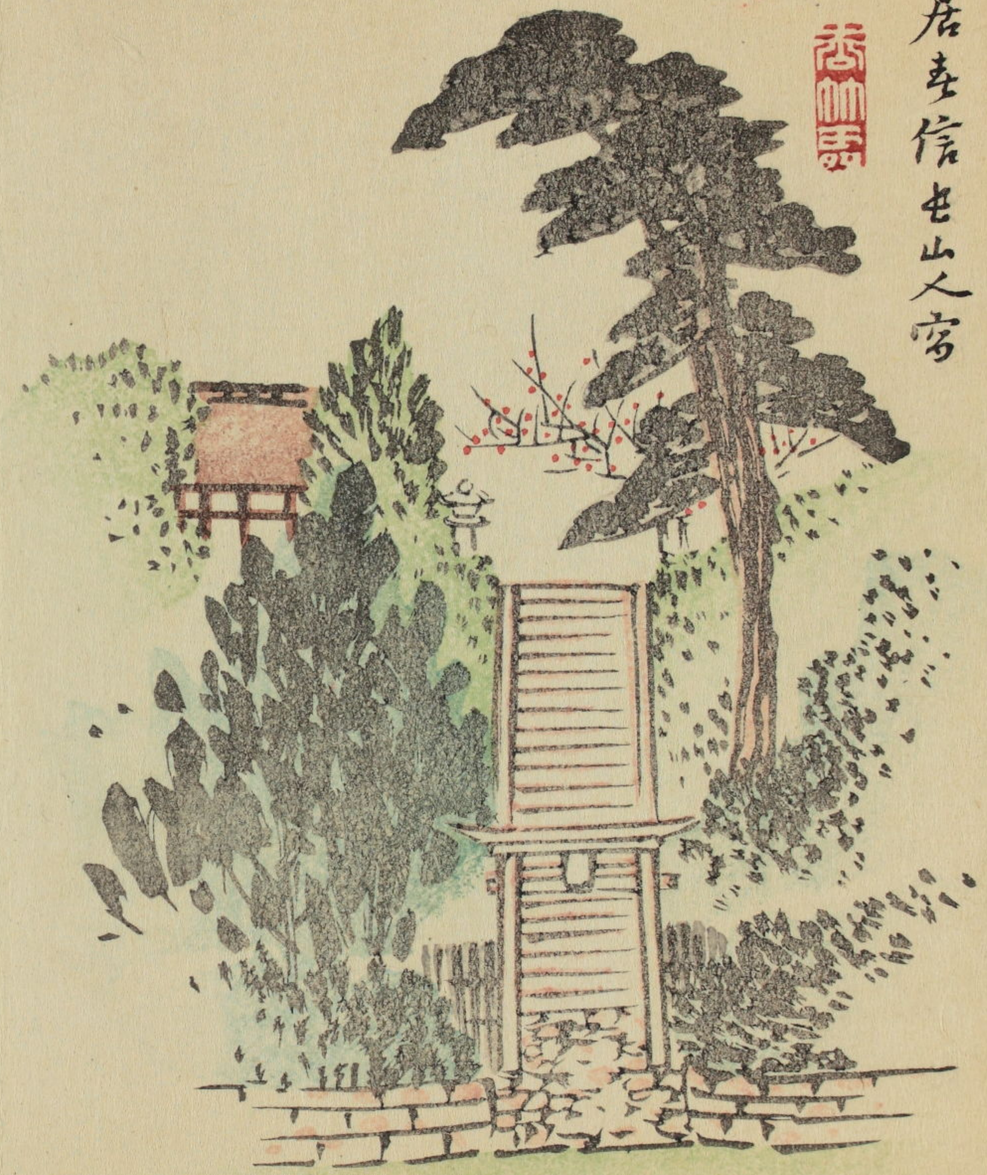
海元梅とくりと伸して春ぶ　京　尾女

ろれすろみ海の山るみ初り　雪宝

梅ろ我領ろ乃塔ろる　梅ろ

春乃書

あ居主信也山人宮



新の京人のかたり伝へしを

[illegible]

丑の春

みよし山やせ後も　エド　乙州

いとゝ菊乃花　兵庫　菊下

庵さくもたゝさくて

師の名残乃ち

又やすし石種　きくや

さく月乃ふる

文さくる日乃月ふさくるの月　野坡

山さくいはもしれなよおすれ　野童

さくるしき無師も秋のゆふ〳〵　令九

とんかくしひ舟ふるや芦の雨　乾迷

ふんあるるやすきの稲ふくく　淑子

西宮　秋

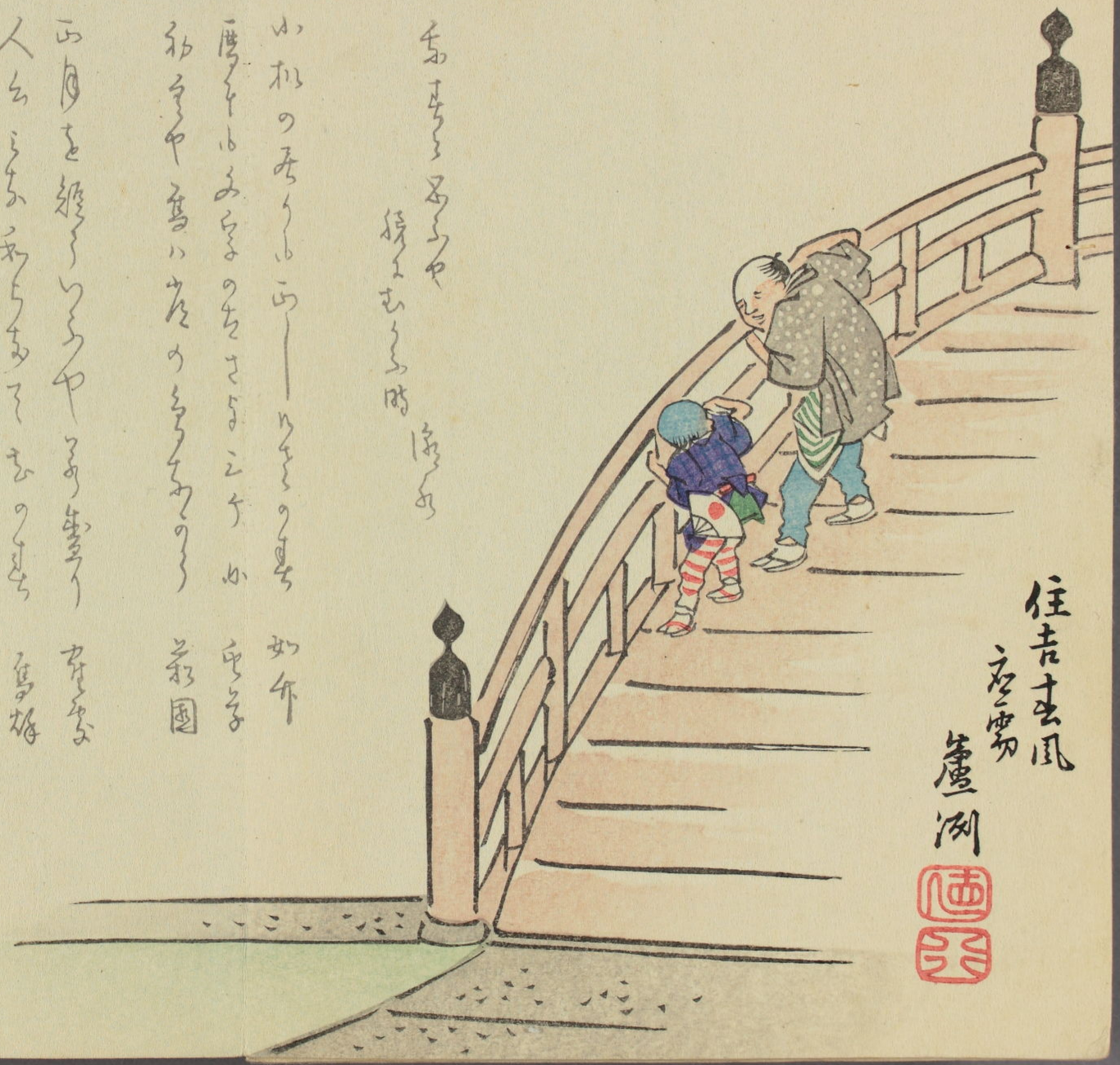
應需作一神一兎畫　保大

いそしきあそふ一月てらされ　五孫
世の人のうつらさ思ひハ山笑ふ　宗尺
我ゆめや梅の影さしてまつつらん　鶴寛
出しなつて孫子実かゝや暮きさひ　二蛛
おもしろし鶴の声きゝや四寸の春　蛛貌
去年の灯をそのまゝはしらぬ春　玉扑
鶴なくやまさりたる出世のこむの春　鶴崎
春の梅よおさまりしめ家の宿　才甫

ことし世代よりよくゐたるあるは思ひ世あつきをりよしきつとは思ひてやま又給よマシともふめてもお年徳なる有しきれハ真見の神乃出るを過ひ去代をむうり兎福まんよれこの世家ハ猪へうつる梅鶯息守ほど卯ハ付申らさくハ兎の所と思ふあそう世界をよくしよまう宿くみきと嘗の私申よりふくも徳をかうれホウとあそつゑ松やうむこゝろよう

うれしや人自ときゝ若の春

台城



住吉土風
文雲
蘆洲

仮ちしや松より上手春乃海　影き
○
石川や霞しくよきはる乃空　扨影
雪とけや山もまこしりさ乃雪　櫻松
おさまる笑ふ女乃出喜文乃卯　重々
子扨よ萬しらて　綾雪
○
子乃日と鶴亀の扨のこゝ子きむ　四町
あくさことも中に住みて春乃月　春暁
ちむらふ宿も春日や弓ちしめ　扨園
乃錦ほ田の四ツ目のめぐりの松乃内　九堂
○
本来もやゝこりき年乃組式のよ　巨柳
くめつまき松ひのこむやこの田舎　春山
えらやをさき子達乃つまりるひ　春鶴
私ちくふるき白ふやくめ乃年　春芸
舟よ揉ミおひつけなし春の空　永楽
まね茶よそよ子さしふ二乃正　春松
おひのよて池ぞ来や月ともめ　梅民
○
不来よく聞よとまるて年見え　煙石
う抱しさかくて絡るやうみ縁　扨永
○
万さんの扨て生れし　雲おこう卯　鶴め
ふさき捨し姫なさむや松の内　玉め
まちてしく花遊やうめ白和　中甫
中継ぎう猫の子をむれてすそ　鶴丸
うらひなや吁むれふふな結乃縁　山秀
新しし訳今の中さや春の面　柳多
○
川るひや萬ろて中ぞを扨ふく　芋海

西宮画應大

恵夫爾

子供をそそのかすもかるいた葉和　徐水

ひやうの葉の傳子の白ー梅が花　崔岱

行きやまさ　この葉の瀧落山　碧中

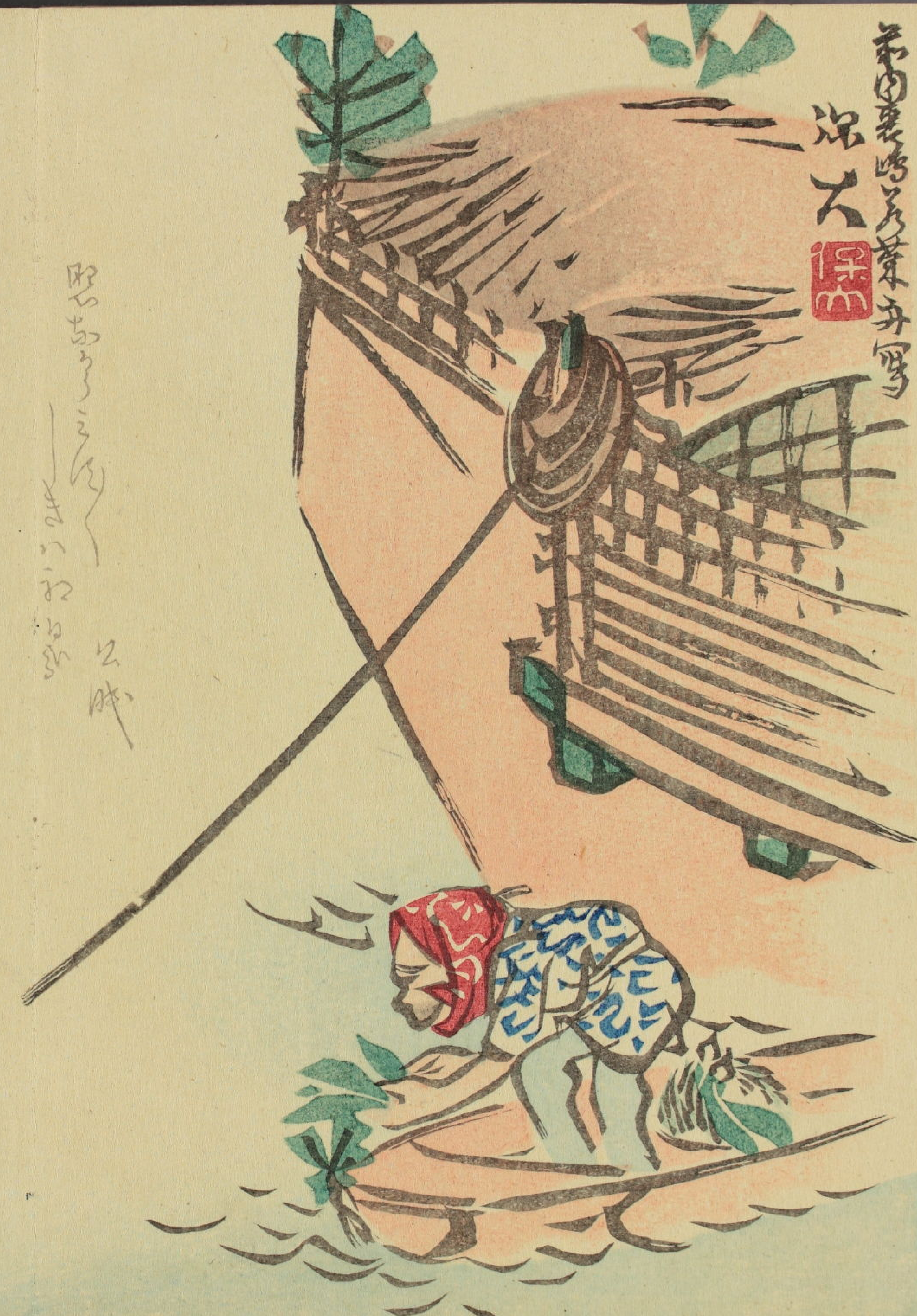
うー行のうー人ー
又ー紅葉恵夫爾　野亭

和ーあーあーあー山ー松の春ーうめ
うーうーやーをーを和ーの松ーし
葉ー葉ーみーしーやーまーみ
うーくーもーやーの色ーを春ーう
加ー葉のをねーるーる　紅葉ーれ
ふ碧ふ法白あーと宋の京
ーのーを紅ー葉のーうー　精弗
梅をーーふ春ーるーし　ーの下弦

松泉　卓志
森所　菜也
月聲
蒐里
粧山
まふ弧
行内警夕
まふ餃

まーうーのーのーうーみーー和移
ーーるのせーうーまーるーー移ー青
行ーー丹のーのーー懐ーー移ーふ

まふ屋



照あかるえん　しきハおねゐ　比晩

うらゝかに気も晴れり庭好之　鶴造
髪結ふ言葉うら流ゆや三つの鶴　碑丹
浮かひ雲やさらくと夢のもの　讀法

手毬や言葉に舞ひ流つく去ぬ　花丸
ころ引雲の江りきや羽うる　紫蝶
鶯ふたゝう歩んで去らぬふきの蓋　岳く
新鮮ハ女子たちの擬人かな　芹水
れしきある梅そ二月の若菜摘　来記
かゝるや扇の梅にも置て香く　可静
大ふりや名残りし笑ひ哉　全丸

高座隔手福あかる春ひて
古の縁をるそは一縁の民と
ちゃうの姫しさて

行きかへる雲の宿さて来る年去　花豊

巳の春

東京帝国大学

佛ちとし京都にて　あの七　湖月

七種や　いれ物の田の　陽ろう　飄亡

あこがれ　我が　枝の軽さうな　智安

七種に　兼ねふ　後ひ　言葉　塗る　雪　仏

伸び　人の　人　立る　梅　くも　花　英

我世　ゆ　ゆ　いあ　ふく　さ　松の　七　ろ

金魚　み　今　り　ち　の　ふ　し　芹　の

花　浮　や　あ　し　誠　し　七　草　り　夜　粥

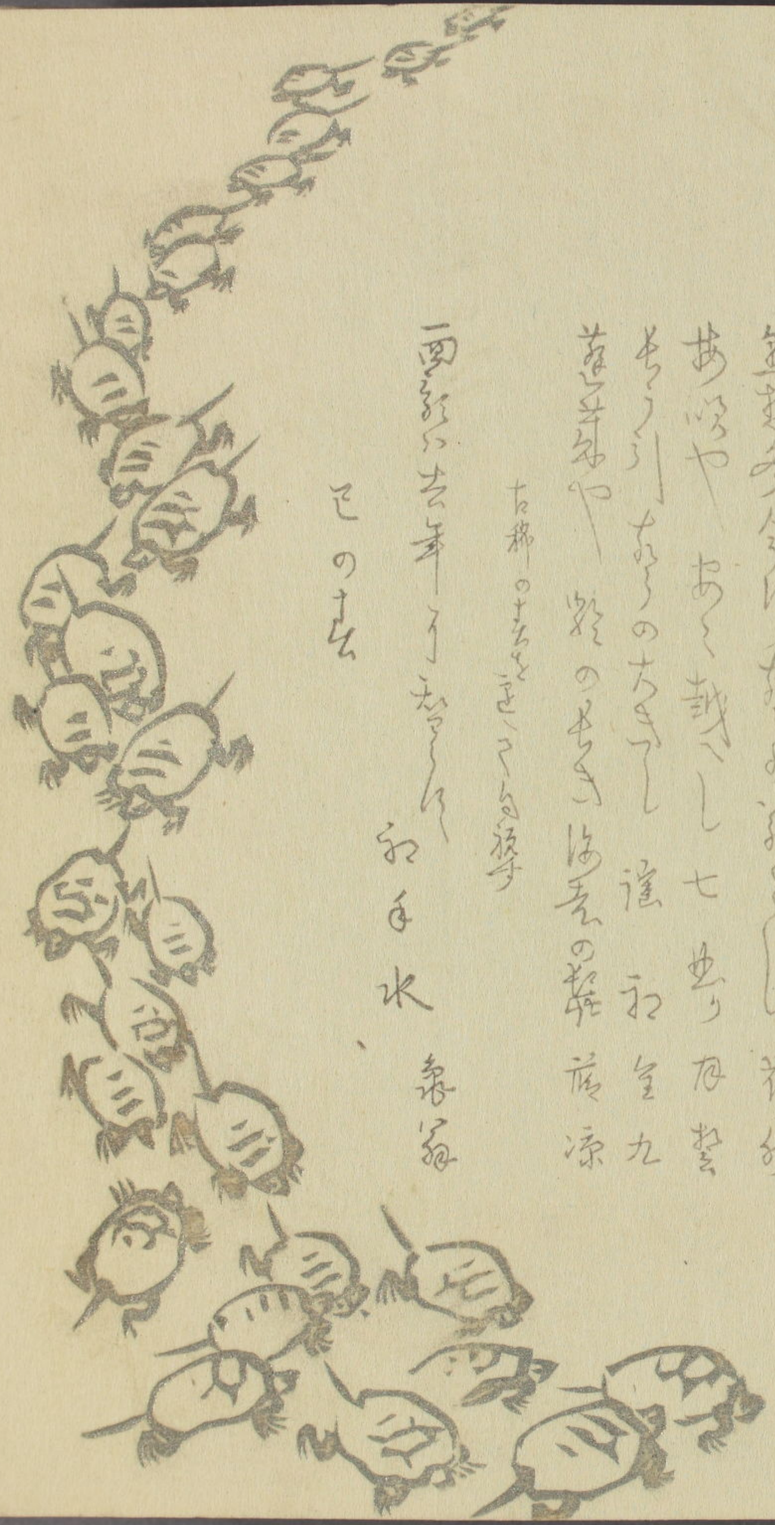
ち　う　り　ち　の　ち　し　違　初　全　九

蓮　弟　や　粥　の　ち　ま　は　元　の　粥　蔦　涼

古稀の　ち　を　迎　ち　る　の　孝

一夏　新　に　去　年　て　ち　ち　ち　ち

七の　ち　ち　　和　水　春　翁



應需墨外

松子ほるみ落ちし
絵の上　宇大
絵きぬ墨のあかるき
秋気

樹の落ち尽る山の皆や
著色紙　長三
あきさきの去るせをや
丁の年　九備

高さく一茎さへ残し相去る
夕焼の行く新さ〳〵昭の去　金九
映松

日暮れて あめりけ煙や 广の春　秋金
鳴るとおく 長る秋の秋気　月琴

松子月宴の市小笠子くり　一雲
鉢まや 春のあさる京のうち　明石

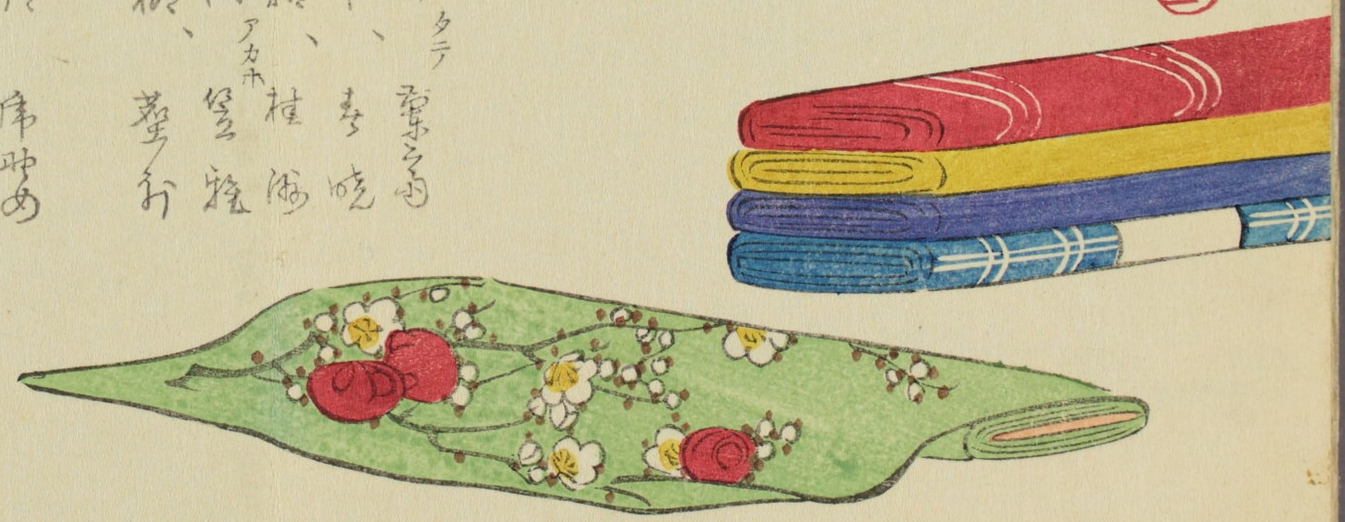
けたこ宮と鶴美も春の夕景色　乙城

松本文庫

啓亭

くらはしや三輪山の道縁起らし　巌道
西肖ハ手ろりまりの文鏡うら　雪堂
初春や本のりしくさし草の本　民通
くらんとて又老ろ家か梅のみく　花雲
家さ夜あらまちらしくらんの春　前水
新玉ちる雪ハ花咲くし庭の雛の解　信雄
射らし家春ハそこさめん狸也し　梅伍
ささいしく内のさくとありさる我　恵月
みなみやりや梅ハ花梅て又ろ鬼　三昇
初鶏や末ら種のくる清の春ら　豊栖
ふりらんる山ほんのりとまんの庭　三静
足ろとや元ろるりの屋敷　花案
末のまち

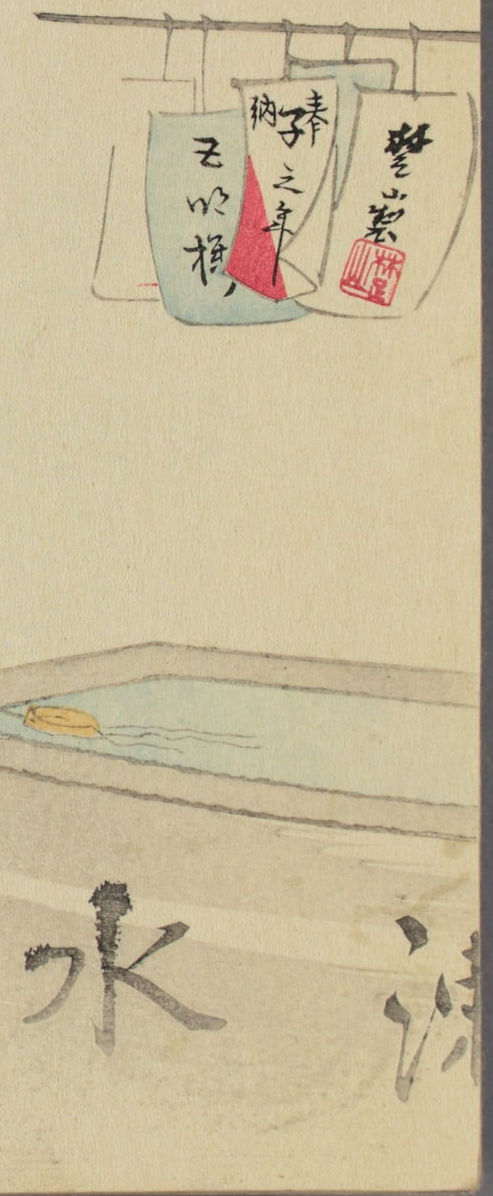
亀齋



禅うけ妙ふ三もうふ寿うの柳　タテ　葉うの雨
まく咲き柿の種やかうの雨、　孝曉
まうさ　れたうの時、　桂海
感さくふ時の毛ふうふ赤　アカホ　望雄
くりぬうの時をうふ添て　き柿、　夢利

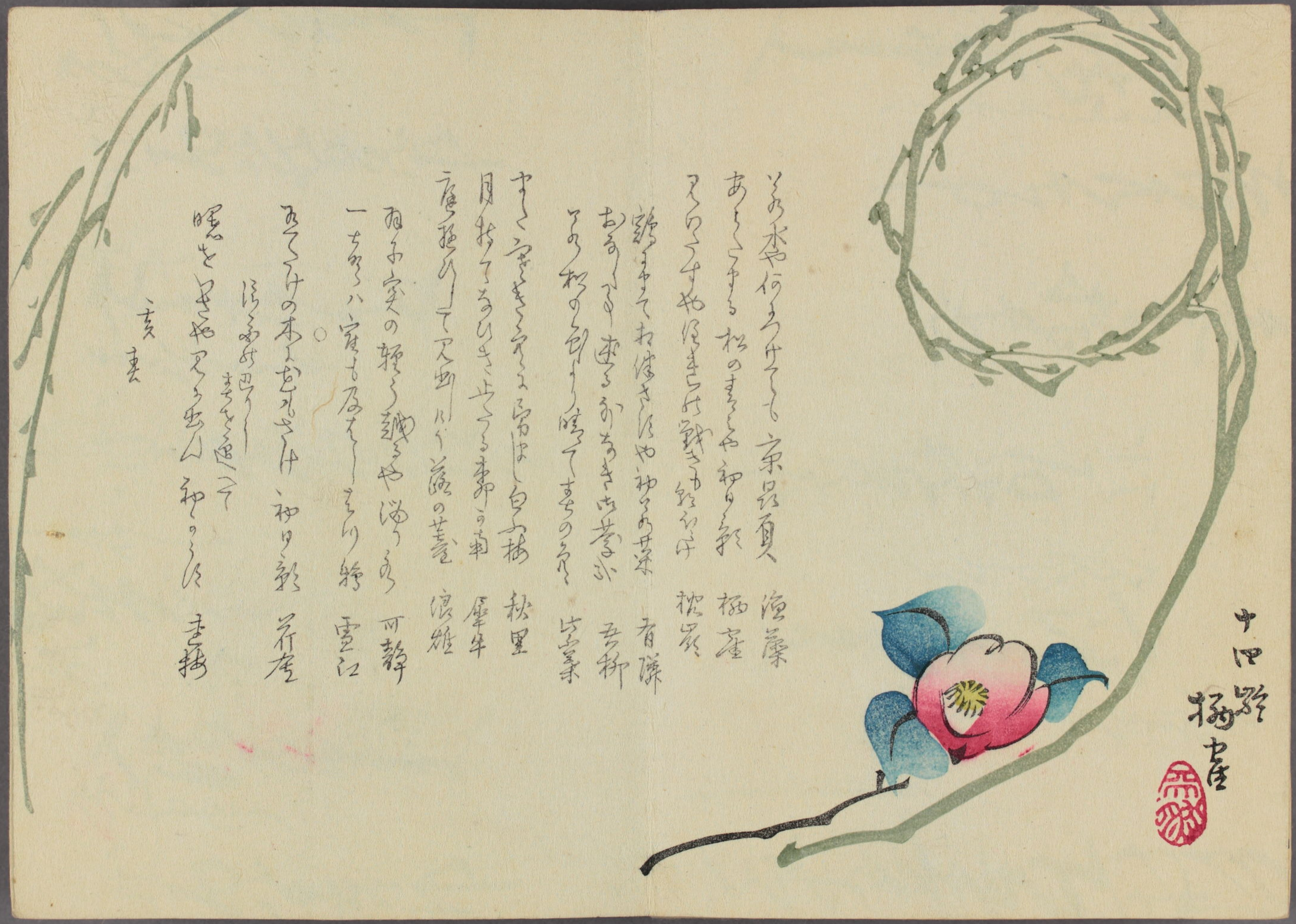
柿さくもうもうもうき屋敷　庫野
いねつもや浦し宮さ山　春雪
うあ時や柳うちうもなし　八重九
宮宮さ山ふ赤の柳　五風
年寿うさきうれうもの毛　松泉

る仏ふいうさふまうきうう初　義弟
まの中社きうき寿鶴　柿の毛　史山
社あうもうううう柳寿　海水




紅つけしるのうるめんさを初霜分
おすさや初さくらの葉乃つ九国
うら咲や連とちけさて色百め笑
つくろひ玄茶めてゐ一初霜元ル石 丹右衛
きを山乃初月隈のつくて子の日うれ紅ゑ
野くゆら咲ゑあしゆ京義の梅野中
小初川梅初流へてゐ雪ゆ雪
鳥ゆ雪ゆきは手ゆやうめの毛鶯雪
初京や芋りかゆ遠く義去雪
を原ゆうひゆ初乳流ゑ

梅氏



いろの水やのうけても京景貞　源藻

あらしこそまつる松のまことを和の新　梅屋

ろのうちやはきこけ鶯きも鶯のけ　松景

鶯まてはおはさはやはのあの若菜　有隣

おるのうち遠るおちきの若水　吾柳

その松の色より時てまちのうち　竹葉

やすく寄きこそ富はし白の梅　秋里

月おりてちひさ止てる事の雨　犀牛

夏雨ひてて人西ハ八蔵の若菜　浪雅

雨の宴の輕う鶯や淵うの　可静

一ちうハ宴も夏てしうり鶯　雲江

○

あてこけの木ゝおもさけ　和の新　芹屋

ほうのあの四ゝ　まをを通て

曙を寄松ゝ西人　和のうた　圭梅

文　東

十四野梅屋

三陳漁老

そもそもそこ[illegible]めて梅見うち　西京　酒藻
ほのぐとあけもひらくや明石うら、　九岳
まつ移ふうつ〳〵家やかゝて冥、　朗居
そちらこちら中上芳や呼よりり　カツラ　恭山
起〳〵やまもたちあらしまよ、　石村
夕栄の帰京よりるる雲うれ　庵白
ちあひる高ふて見る金宝ふ　慕江
雲むるやこれ梅ひみる坊の庵　足魚
それなるを扇てよけるれ老うれ　叡亨
ゆうさとふゆうちちゆる移れ　栖路
新暦とうりかゝあて祝うり　一子郎
風の香よそうる客戸の赤の芳沢　海水

ものはなれてとてもちかく梅の花
ちかい陰ゆ春めきちるうら梅の花
陰さしやすく枝くさをひろき梅
梅ゆやなのこられと人乃春
もつてふよ志ゝ奈せ堂んうか
梅ハぬゝ与志堂のもれよゝう蕨
志ゝ乃ゝ乃陰ゆあゝうゝや梅の花

曲川
、方月
紀州 汀月
ハりま 梅六
日向 一路
、、逸行
里西

蕨山の陰やいゝゝ蕨乃蓋
ゆゝゝもれる長寿なゝ乃家
色も枯やさゝめ志ゝの鍵 枯
志ゝの秋おく殆ら

雀雲
清悲
碎月

降雪と梅見ゝ乃ゝ和歌
ものゝゝもさゝ世て梅ハ茶ゝの形

ゝつる
清乃

とのいへをあちこちかりうつす草稿　似水

初うぐいす嶮岩をいでふ炭かうり　枯岸

ツ美戈ひとこゑもあるかなし　野草

ゑ屋もも添へてそよぐ蒙雲　紫雲

秋代りくそうもゆるこの屋窓　一つ花

砕て玉こ砕て浮こやかの内　筍号

この山も色うふくて春うらら　碎月

おりてこゝ枝さハきする柳うの　巳柳

先ん梅の影ゝさしぬる屋の月　梅影

一月やまさ照ふつゝぬまのこけ　可静

まゝ新やくくまく山の雪もよし　月仏

鶯うさゝやついとゝやすゝ鼠とゝ　連梅

法ゑんくけつゝうゝぬ枝ゝ郭　海月

新てはのこゝろや沼の子栄のむ　赤京　大雪

繁るかりて松ふる雨乃音の紅葉　サヽキ　生海

さゝ栄風や吟て蝉きさ東山　小葉

新こゝれ庵ゝゝも霧て繁者氏　松分

川柳まむ新ゝたゝゝ　流美

侍繁や雪ゝたゝゝ表の色　文琴

つ杉や並木のるちのひし手　雀雲

ゝゆゝゝの中弓ゝ待杉の月　良ゝ

ゝゝさも含むやゝゝ福者竹　紫分

年礼やきれゝゝて夕雲　杉女

延やゝ沼つあんさゝやゝ栄の色　海月

已ゝ

春なや

何となくかれしむの春　喜居

川ぞひの村のさかしくかぶ柳　東雅

家並の梅が新ら敷ハあかりけり　有也

道ばたを往来の稀となる風　重月

足音に我も起きて初くらく礼者かな　白く

我子の日ふて神の前に樹う家　梅仙

鈴懸ふ雲や入りの梅う松　年

みなもは山にもうつりめでたき　業林

三ケ日をたらして交にこえしうたた　三平子

海うさる味の出来しまた新　醉月

西角に去年と草りけり [illegible] 梅英

[illegible] 年に [illegible] の内　柳舎

[illegible] やさ [illegible] 八ツ [illegible]　全丸

[illegible]

むのまへの [illegible] のたきさら　有也

年のうち

[illegible]画

[illegible]

[illegible] 湖水

[illegible] 四海解 豆

[illegible] 雲 [illegible]

[illegible] 播

[illegible] 井 清 遥

一 [illegible]

[illegible] 笑 [illegible] 芳水

七り 蕎

[illegible] 都乃 [illegible] 三汲

[illegible] 雅 [illegible]

[illegible] 菓 [illegible] 貴 [illegible] 貴 [illegible]

[illegible] 菓 [illegible] 超 [illegible] 靜

[illegible] 徒 水

[illegible] 里 婚

[illegible] 女 花

[illegible] 年 男 [illegible] 雨

井 [illegible] 西 月

[illegible] 藍 江

[illegible] 雅

[illegible] 雅 全 九

[illegible] 十 [illegible]